

# 報 雜

## 人 事

<p>從四位勳四等 安 藤 畫 一            敘勳三等授瑞寶章 (五月二十三日)</p> <p>從五位勳五等 秦 佐 八 郎            保險衛生調査會委員被仰付 (五月二十六日)</p> <p>吳海軍病院教官兼            部員海軍軍醫少佐 大 岩 博 雅            補大湊要港部部員兼分隊長大湊防備隊軍醫長分隊長            岡山醫科大學教授 緒 方 益 雄            陸敍高等官四等 (六月二日)</p> <p>正七位勳四等 矢 野 恒 太            都市計畫東京地方委員會委員被仰付 (六月三日)</p>	<p>從四位勳四等 生 沼 曹 六            敘勳三等授瑞寶章 (六月十二日)</p> <p>金澤醫科大學學生主事            兼金澤醫科大學助教授 松 本 武 一 郎            免本官專任金澤醫科大學助教授 (六月十六日)</p> <p>金澤醫科大學助教授 松 本 武 一 郎            本俸八級俸下賜            職務俸金貳百圓下賜 (六月十六日)</p> <p>岡山醫科大學助教授 田 川 蟬 太 郎            本俸六級俸下賜 (六月十七日)</p> <p>岡山醫科大學教授 皆 見 省 吾            本俸五級俸下賜 (六月十八日)</p>
---	---

- 林 道 倫君 既記の如く歐米諸國に出張を命せられたる同君は本月 23 日當地を出立せられたり
- 武 野 一 雄君 精神醫學研究の爲め歐米に在留を命せられたる同君は本月 22 日當地を出立し前項林君と共に西伯利亞經由先づ獨逸國に在留せらるる豫定なり
- 進 藤 直 作君 は豫て岡山醫科大學柿沼内科教室に勤務し居られしか今般同教室を辭し横須賀海軍共濟會病院内科醫長として就任せられたり
- 赤 岩 亨 二君 は豫て岡山醫科大學泉外科教室に勤務し居られしか今般神戸市北長狹通四丁目佐野病院外科部長に就任せられたり
- 劉 雄 君 は先般福州教導團醫院を辭し上海商務印書館編譯所醫學部に勤務せられたり
- 須之内權三君 は今般岡山醫科大學講師を辭し松山市一番町に於て開業せられたり

瀬尾原始君逝く 高田市知命堂病院長瀬尾原始君は豫て病氣靜養中の處藥石效なく本月 6 日遂に永眠せられたり享年 70 歳洵に哀悼に堪へず茲に謹みて弔意を表す其略歴は左の如し

明治 20 年 4 月東京帝國大學醫學部を卒業し直ちに同大學院に入學す

同 22 年 10 月 1 日第三高等中學校教諭に任せられ醫學部勤務を命せらる

同年 10 月 21 日岡山縣病院外科醫長を囑託せらる

同 24 年 11 月現職を辭し郷里高田市に知命堂病院を創設し其院長として今日に至る

生沼教授母堂 岡山醫科大學教授生沼曹六君母堂は病氣靜養中の處醫藥其效を奏せず去月 30 日遂に永眠せられたり謹みて茲に弔意を表す

◎Weygandt 教授來岡 曩に Axenfeld 教授を迎へし本學は 6 月 12 日 Hamburg 大學精神科教授 Weygandt 氏の來訪を受けたり、同氏は精神科教室其他を參觀し第 1 講堂に於て學生及び職員に對し「精神病理學と藝術」に就き一場の講演ありき

◎野球大會 岡山醫科大學學友會野球部主催にて去月 31 日及び本月 1 日の兩日同大學運動場に於て第 2 回全國高等學校、専門學校野球大會を開催せり参加校は左記 8 校にして長崎高等商業學校の優勝に歸したり

第六高等學校 松山高等學校 高知高等學校 姫路高等學校  
浪花高等學校 高松高等商業學校 長崎高等商業學校 京都藥學専門學校

◎廣島市岡山醫學同窓會 廣島市に於ける岡山出身者を以て組織せる吾が同窓會は會員數實に 60 名に達し毎年春秋二季に之が同窓會を開催しつつ有り、昭和 5 年度春季例會を去る 6 月 1 日午後 7 時より新緑に萌ゆる饒津の森近く太田の清流に臨める大華樓に開く、此の日時節柄營業繁多なる季節にも拘らず出席者 31 名に達し開會に當り先づ同窓越智一覺君及び己斐言君御令息の遠逝せられたるに對し一同弔意を表しそれより新入會員西下正巳君、武田要君の紹介を終り宴に入りては初帖の香に賀茂鶴の銘酒を汲み舊交を温めて歡談暫し盡くる所を知らず 11 時過ぐる頃萬歳を唱へて會を閉づ

當日の出席者下記の如し (順序不同)

三宅良一 廣藤文造 村上敬二 砂堀雅人 濱島秀悟 藤堂一郎  
富士田 恕一 平野 登典一 佐藤利宗 百谷三郎 福永豐綱 長 壽人  
多田 繁 松林保太郎 高井禎道 蔵本 貢 竹本 巖 清水憲介  
福原 諤 正岡一董 三好義雪 坪井義晴 田代 登 坪井賢次  
田中敏行 西下正巳 田坂重實 武田 要 神田 薫 田坂三友  
田中徳男 以上

◎濱崎助教授通信 (皆見主幹宛 5 月 21 日伯林發)

去る 8 日伯林着、筒井助教授の御案内にて一通市内の見物を終り申し候(以下略)

## 新 刊 紹 介

◎倉敷中央病院年報 第 4 號 (昭和 4 年度)

昭和 5 年 5 月の發行にして「アレルギー」疾患特殊治療設備並に同院平面圖を掲げ患者の統計、研究會報並に原著數十の發表あり、同院の事業並に業績を窺ふべき好參考書なり。